

●劇場音楽

歌舞伎

江戸時代に大成した日本の代表的演劇。

慶長(1596- 1615)頃の阿国(オクニ)歌舞伎に始まり、若衆歌舞伎を経て元禄期(1688- 1704)に劇的要素を主とする演劇に発展した。女優の代わりに女形を使い、また舞踊劇・音楽劇などの要素をも含む演劇。

(大辞林)

演目の点では能楽の伝統を受け継ぐ(例:翁、道成寺、羽衣など)が、直接のつながりはない。

歌舞伎の語源:かぶく(傾く):派手な身なり、奇妙な身なり(異性装など)をする。

歌舞伎の変遷

・女歌舞伎

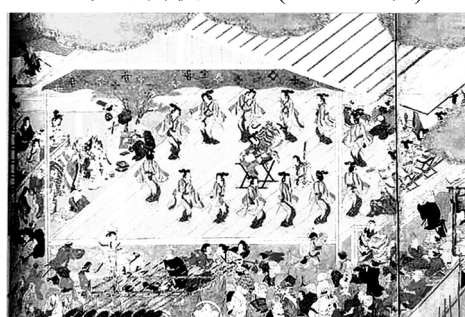
阿国歌舞伎

(1600 年頃)



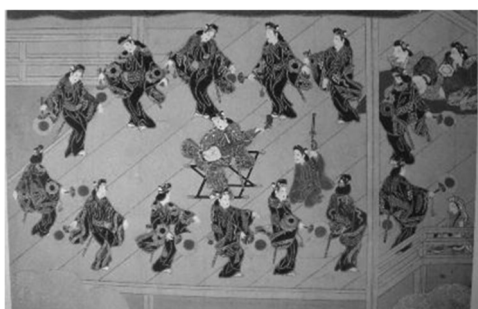
遊女歌舞伎

(1615-29 頃)



・若衆歌舞伎

(1629-52 頃)



・野郎歌舞伎→現在の歌舞伎のもと (1653-88 頃)



・元禄歌舞伎

初代市川団十郎らが活躍(1688-1704)

◆現代の歌舞伎の特徴

- ・男だけで演じる→女形の存在
- ・スペクタクル
- ・極端な化粧:隈取り

